

# 地域創生の実現に向けたSDGs課題解決プロジェクト

## 徳島大学SDGs推進委員会 委員長 藤本 真路

徳島大学 SDGs 検索



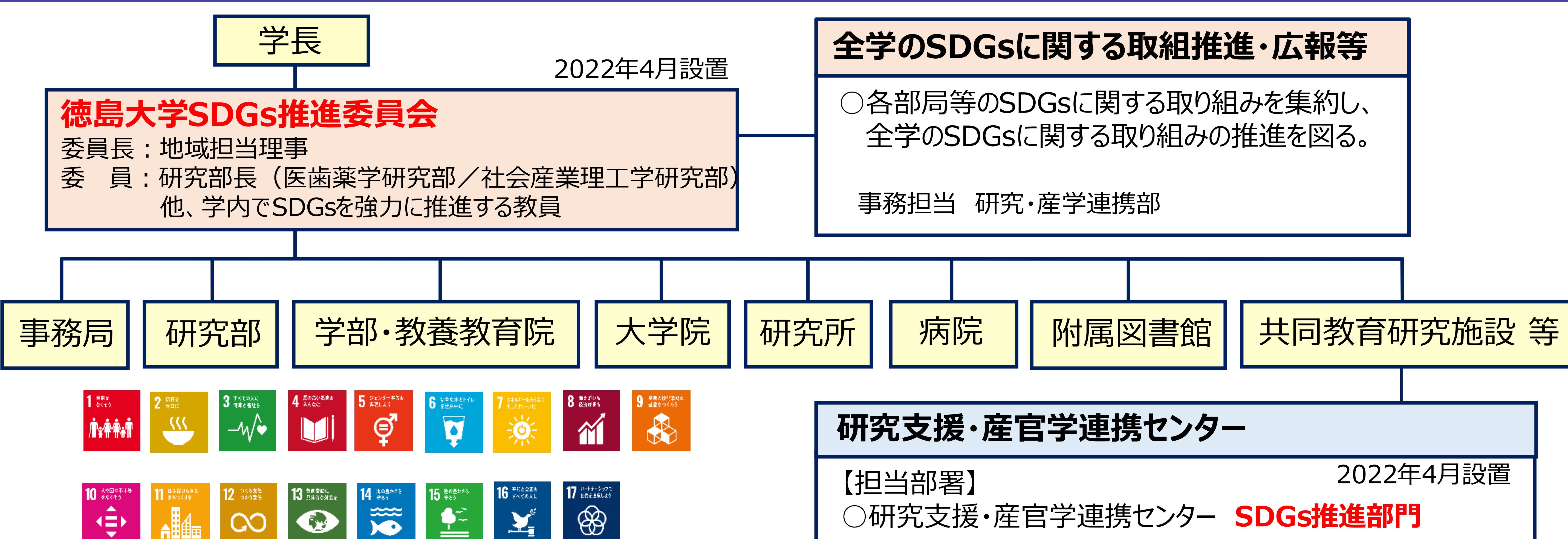
## 地域から世界の課題を解決する

### Our Science for SDGs



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

徳島大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



## 徳島大学のSDGs推進体制

2022年4月に「徳島大学SDGs推進委員会」を設置、6月には「徳島大学SDGs基本理念」を制定しました。また、その支援組織として、研究支援・産官学連携センターにSDGs推進部門を設け、SDGs達成に向けた取り組みの推進を図っています。

徳島大学がエントリーしたSDG



## 2025年度の取り組み

### SDGs課題解決に向けた研究費支援事業～農林・食品分野に対するSDGsプロジェクト

2025年度は、地域・産業界から要望の強い「農林分野・食品分野」に対するSDGsプロジェクトを実施しています。地域および産業界におけるSDGsの課題解決に資する研究、またその解決により新たな産業の創出や地域創生の推進が期待される4件のプロジェクトに助成を行っています。POC (Proof of Concept) 経費支援を行うことで来年度以降の共同研究への発展や研究成果の社会実装を目指しています。

4つのSDGsプロジェクト概要

1. 稲作残渣の有効利用に必要なバイオマス供給量の調査  
調査結果：徳島県の稲作面積および生産量  
県別：徳島県 9,750ha, 徳島市 1,330ha, 小松島市 891ha, 阿南市 2,238ha  
主な結果：稲作未利用資源の活用率  
LCAによる主要排出ガス  
CO<sub>2</sub>: 水田からの排出, N<sub>2</sub>O: 施肥起源, CH<sub>4</sub>: 燃料・電力・資材製造, CO<sub>2</sub>換算 (GWP)

2. 新規機能性成分の供給源候補となり得る農作物残渣の探索  
目的：農作物残渣は魚油の代替となり得るか？  
植物オキシピリンと魚油の類似の生理活性をもつ  
これまでの知見：インゲンマメ未熟種子の種皮に植物オキシピリンが蓄積  
Enomoto et al. (2017)  
植物オキシピリンが農作物残渣に含まれていれば⇒有効利用⇒魚油に代わる供給源

3. 豆腐製造における残渣(おから)の有効活用  
問題：未利用余剰おからによる食品ロス(おから)発生  
解決策：未利用の農作物残渣中にも含まれているでは？  
方法：溶液栽培トマト茎・葉・規格外品, つやなしナス, すだち未熟完熟  
効果：CO<sub>2</sub>量 down, 環境保護効果 up!, 利益生産力 up!  
関係者：佐々木 干鶴 (プロジェクト代表者), 田中 保 (関連研究者), 阪本 雄行 (関連研究者)

4. ニンジンからの抗菌剤開発  
問題：徳島県の春ニンジンは生産量日本一！しかし、規格外品などは廃棄するしかなくて…もったいないから有効利用したいな！  
解決策：オーラルケアグミ PSph  
効果：ニンジンフィットスフィンゴシンによる歯周病予防  
関係者：栗飯原 真睦 (プロジェクト代表者), 横谷 英治 (関連研究者), 田中 保 (関連研究者), 阪本 雄行 (関連研究者)

分野：地域創生、研究支援

徳島大学 SDGs推進委員会

担当：研究支援・産官学連携センター SDGs推進部門 中嶋

E-mail: [nakashima.eiko.2@tokushima-u.ac.jp](mailto:nakashima.eiko.2@tokushima-u.ac.jp)

Tel. 088-635-8406